

# 大山の森だより

2022年秋号

## 願い事は何ですか？大山の鍵掛の風習



大山には紅葉の名所で知られる鍵掛峠と呼ばれる場所があります。鍵掛峠の由来は、大山寺の参詣者や大山の牛馬市へ出掛ける※博労(ばくろう)や農民たちが、旅の安全や幸運を願い、鍵(鉤)の形をした小枝を木に投げ掛けたことから名づけられたと伝わっています。またかつて大山周辺では、数え年で13歳になった男の子に大山参りをさせる「十三参り」の風習がありました。これは子どもの無病息災や健やかな成長を祈ったもので、その際に大山の神様と縁を結ぶという意味で、鍵(鉤)の形をした小枝を石仏に供えたそうです。

14世紀半ばに書かれた大山寺縁起には、聖地大山を守護するために4つの※山王(「木の目」「岩の目」「劔(つるぎ)」「石)が置かれたと記されています。大山寺に至る4つの大山道(横手道、尾高道、坊領道、川床道)にある(あった)山王と仁王、明王がその山王らしいです。坊領道の山王は、もともと劔(つるぎ)の目山王と呼ばれていましたが、人々が鍵掛をするので鍵掛さん=鍵掛山王と呼ばれるようになったようです。人々は近くの精進川で身を清めてから、山王の神木に鍵掛けをしたと言われています。この鍵掛けは清めの儀式だったという説もあります。

※博労とは、牛馬の仲買人のこと。

※山王とは、天台宗の鎮守となった山の神「大山咋(オオヤマクイ)」=山王権現のこと。



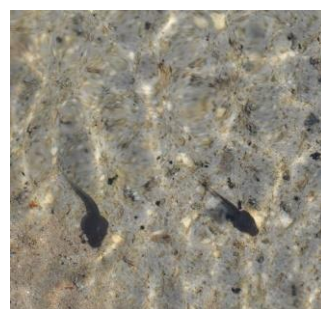
## 夏期 自然ふれあい事業 活動報告

### ○南光河原 水生生物(カジカガエル)観察会

開催日：7月2日



中国地方は6月28日に梅雨明けし、観察会当日も朝から晴れて30度近い気温。残念ながらカジカガエルは見つかりませんでした。清流でカジカガエルのオタマジャクシや水生昆虫を観察することができました。岩だらけの溪流に、カワゲラやトビケラ、カゲロウなどが多数生息していることに、参加者は驚いていました。



■6月11日のイベント、樹水高原 旅するチョウ「アサギマダラ」観察会は、悪天候の予報が出たため中止とさせていただきます。



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。裏面にイベント情報を掲載しています。



# 大山のスピリチュアルな植物

क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ क्षितिघर्भ  
大山は古来より神霊の宿る山として敬われてきました。先祖の霊を祀り、神仏の加護を祈った大山で見られる、占いやお守りに関係があるスピリチュアルな植物を集めてみました。

## 【 ウワミズザクラ 】 バラ科ウワミズザクラ属 落葉高木

房状に白い花を咲かせる桜の仲間です。大山寺付近では5月中旬頃に、直径6～8ミリほどの小さな花が集まった白い



ブラシ状(総状花序)の花を咲かせます。花後には小さな黒いサクランボがたくさんつき、鳥や小動物、熊などが好んで食べます。

古代には波波迦(ハハカ)の木と呼ばれ、太占(フトマニ)という占いで使用されました。古事記では、天の岩戸開きの神話の中で、「牡鹿の肩甲骨をハハカの火で焼いて」、骨の表面に現れる割れ目の形によって占ったと書かれています。和名は、占い前に木の表面に溝を彫った事に由来するようで、占溝(うらみぞ)桜または上溝(うわみぞ)桜と書いたものがウワミズザクラと呼ばれるようになったとか。木に溝を彫る理由はわかりませんが、この木自体も占いに使用したようです。

## 【 ミズメ 】 カバノキ科カバノキ属 落葉高木

ミズメは高原の木で知られる白樺に近い落葉高木。大山では標高900メートル以上のブナ林に点在して生えています。木肌が桜に似ているのでミズメザクラと呼ばれることもあります。

別名は梓(あずさ)。古代には高い弾力性のある材質から弓の材料として使用され、その弓は梓弓と呼ばれました。古くは神事や出産などの際、魔除けに鳴らす弓(鳴弦)としても使用されました。樹液には独特の香りがあり、それが魔除けとして神事や占い(託宣)に使用された理由のようです。その匂いはサリチル酸メチルで、サロンパスなど湿布薬の匂いです。



## 【 メドハギ 】 マメ科ハギ属 多年生草本



日当たりのよい草地に見られるマメ科の多年草で、高さは1m程度になります。茎は硬く木質化しますが、年を越えず、翌年はまた地下から茎が出ます。細かい葉が密生し、白い小さな花と真っすぐに立つ姿が特徴的です。

古名をメドまたはメドキと言い、この植物の茎を使った占いもメドと呼びました。中国から伝わった筮竹(ゼイチク)という占い(易占い)にも使用されました。のちにメドは目途・目処とも書かれるようになり、目標や目当てという意味になったそうです。「物事の見通しがはつきりする」という意味の「目途(目処)が立つ(つく)」という言い方は、もともとは占いの結果が出るという意味らしいです。

※ **क्षितिघर्भ** はサンスクリット語で「クシティガルパ」=地蔵菩薩



# 大山の願掛けの場所 ※一部です



**意明の橋:** 大神山神社の参道にある小さな石橋には、裏に金剛経が彫られていて、祈りながら渡ると一切の罪や穢れが消滅すると伝えられています。また橋の傍の岩を抱えた大杉は夫婦杉めおとすぎ(和合の岩)と呼ばれており、祈ると夫婦円満にご利益があるそうです。



**宝牛・撫で牛:** 大山寺境内にある牛の銅像は、昭和11年(1936)に寄進されたものです。「牛王如来」の化身の牛と言われ、この牛を撫でながら願い事を唱えると、一生のうちに一度だけかなえてもらえると言われています。

**利生水:** 散策道の大山僧兵コースの中ほどにある水汲み場です。行基菩薩が杖を突いたところから湧きだしたと伝えられ、文珠堂の閻伽水に使用されていました。この水をつけると髪が美しくなると言われていましたが、西暦2000年の鳥取県西部大地震で水が出なくなりました。

**願掛け岩:** 大山スキー場へ上がる車道の途中にある大きな岩を願掛け岩と言います。その岩に金門切り分けから小石を拾って供え、願い事を心に念ずるとかなえられると言っています。冬のスノーシューイベントで、願掛けツアーを開催しています。興味のある方はご参加を。



うすさまみょうおう  
**烏栖左摩明王:** 大山寺の参詣道のひとつ、川床道には烏栖左摩明王を彫った岩が置かれています。大山スキー場内にあり、大山寺の四方を守る山王の一つとも言われています。この明王は男女の腰から下の病気にご利益があると言っています。

**赤松の池:** 大山町赤松には周囲4キロに及ぶ大きな池があり、昔から大蛇が住むと言われています。美しい姫神で、干ばつの時に祈ると必ず雨を降らせてくれると信じられています。また池に好物の山椒の実を投げ入れると願い事をかなえてくれるそうです。

## コラム: 占いと朴の木

占という漢字は、**卜**と**口**の二つの漢字でできており、**卜**(ボク・フ)だけで占うという意味があります。では木へんに**卜**がつく**朴**(ホオ)＝**ホオノキ**は占いに関係がある樹木なのでしょうか？**卜**の字形は鉤状の枝に似ているので、もしかしたら鍵掛占いに使用された樹木なのでは！と思い調べてみました。



結果は…、**卜**の字は占いのために焼いた骨に現れたひびの形を表したものだそうです。**卜**には「はがれる、割れる」という意味もあり、**朴**とは皮をむいた木のことで、中国では「エノキ」を指す文字だそうです。日本では**ホオノキ**に**朴**の字が当てられました。**朴**には飾り気がないという意味(素朴、朴訥など)もあるのですが、香りのよい大きな白い花を咲かせ、葉も大きい**ホオノキ**には合っていないような気がします。ちなみに**ホオノキ**は大山にたくさん自生しています。

# ーイベント情報（10月～11月）ー



## ■自然公園財団のイベント

<p><b>○横手道 秋の木の実草の実観察会</b>            開催日：10月8日(土) 9:00～12:00頃            会場：寂静山・豪円山周辺            集合場所：自然公園財団事務所前            参加費：1500円</p>	<p>秋は実りの季節。様々な植物が実(種)を結びます。実(種)は植物が命をつなぐ手段。植物ごとにいろいろな工夫が見られます。大山の森や草原でいろいろな実を見つけて観察してみましょう。            定員：15名 <span style="float:right">自然観察</span></p>
<p><b>○大山寺 阿弥陀堂周辺の知られざる遺跡を探る</b>            開催日：10月22日(土) 9:00～12:00頃            会場：阿弥陀堂と常行谷周辺            集合場所：自然公園財団事務所前            参加費：1500円 ※健脚向き</p>	<p>木々が色づき始める大山のブナの森。阿弥陀堂の背後の森には夏山登山道につながる道の跡があります。その合流点から望むのは常行谷奥にある謎の平坦地。そこに何があったのか。初秋の大山で謎の遺跡を探索します。            定員：10名 <span style="float:right">歴史探訪</span></p>
<p><b>○奥大山古道ウォーク(共催事業)</b>            開催日：11月13日(日) 8:30～15:30頃            会場：江府町鍵掛峠・御机・下蚊屋            集合場所：エパーランド奥大山前            参加費：3000円            ※詳しくは江府町のホームページをご覧ください。</p>	<p>鍵掛峠から紅葉の奥大山古道を歩き、伝統の下蚊屋荒神神楽を堪能します。3年ぶりの開催です。            ●申し込み・お問い合わせ先：9月末ごろ募集開始            奥大山古道保存協議会事務局(0859-75-6007)            定員：50名 <span style="float:right">ウォーキング</span></p>
<p><b>○大山寺 利生水周辺の謎の遺跡を探る</b>            開催日：11月19日(土) 9:00～12:00頃            会場：利生水と大山寺金門周辺            集合場所：自然公園財団事務所前            参加費：1500円 ※健脚向き</p>	<p>行基菩薩の伝説が残る利生水の上には寺院跡があることは知られていましたが、最近、複数の寺院跡が発見されました。それは御旅所跡と伝わる高台の平坦地へとつながっています。知られざる寺院跡を巡るツアーです。            定員：10名 <span style="float:right">歴史探訪</span></p>

## 大山寺秋季大祭 と 大山の大献灯



毎年10月24日に開催される秋季大祭は、大山紅葉まつりのメイン行事で、稚児行列・探灯護摩法要(写真左)等が行われます。大山の歴史を感じられる秋の行事です。  
 ※大山寺参拝は、山門で参拝志納金(大人 300 円、小人 200 円)をお願いいたします。  
 大祭に先立ち、10月7(金)～9日(日)の3日間に、参道や境内を灯籠や和傘の灯りで飾る大献灯(午後6時30分から)が予定されています。  
 ※大献灯は有料(中学生以上、1000円。事前販売チケットで人数を制限しています)  
 詳しくは、大山観光局へ(Tel:0859-52-2502)



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33  
 大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階  
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370  
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

